



つや姫通信 第1号



大分県豊肥振興局
集落・水田第二班
TEL 0974-63-1172

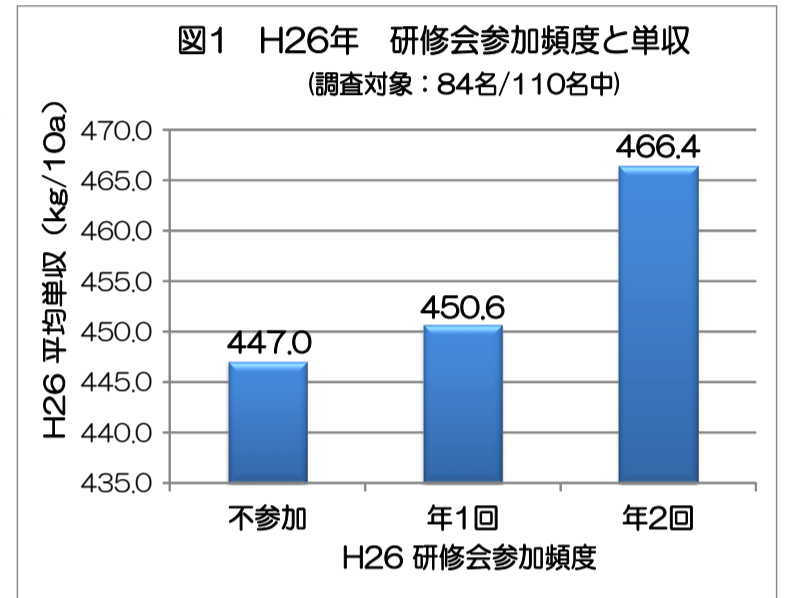
今年も水稻の育苗の季節がやってきました。昨年は、日照不足等の影響で品質が低下した生産者もいました。つや姫は極早生の良食味品種であることに加え、高温に対する品質の安定も期待できる品種で、今年で本格作付5年目になります。

竹田市の作付面積は県下の28.5%を占めており、実需者の評価も高く、高品質なつや姫の生産拡大が期待されています。このため、栽培にあたっては、下記のこと十分に注意して下さい。

1. つや姫栽培にあたって守っていただくこと

1) 基本要件

- ① 収穫物は自家消費分(120kg以下)を除き全量農産物検査を受け集荷団体等へ出荷。
- ② 種苗の譲渡と自家採種は行わない。
- ③ 地域又は県主催のつや姫栽培研修会へ参加する。
研修会に参加されている回数が多い方ほど収量が高い傾向にあります。新規栽培者の方はもちろん、積極的に研修会で情報収集しながら収量向上に努めましょう。(図1)



2) 面積要件

- ① 面積: 概ね 50a 以上

3) 栽培要件

- ① 栽培マニュアルを遵守し、良食味・高品質栽培に努める。
窒素成分が 6.0kg を超えないよう注意し、圃場や気象状況に応じて施肥量の調整を行いましょ。
- ② 大分つや姫栽培基準を守り、生産履歴を集荷団体等へ提出。
(化学肥料由来の窒素成分量 1/2 以下、農薬 10 成分以内)
- ③ 栽培推進地域内の水田で栽培する。

(表1)大分県過去5カ年の1等米比率(%)の推移

栽培年	つや姫	ヒノヒカリ
H22	83	42
H23	60	51
H24	80	45
H25	52	61
H26	71	69
平均	69.1	53.6

(表2)つや姫の田植え日から出穂、収穫の時期を予測したもの(平年気温で推移した場合)

標高	田植え	出穂期	収穫期
300m	5/1	7/21	8/30
	5/10	7/26	9/5
	5/20	7/31	9/10
	6/1	8/6	9/17
	6/10	8/12	9/25
	6/20	8/18	10/3
350m	5/1	7/24	9/4
	5/10	7/28	9/8
	5/20	8/2	9/14
	6/1	8/8	9/21
	6/10	8/13	9/27
	6/20	8/19	10/5
400m	5/1	7/25	9/5
	5/10	7/29	9/9
	5/20	8/3	9/15
	6/1	8/9	9/22
450m	5/1	7/27	9/8
	5/10	7/31	9/12
	5/20	8/4	9/17
	6/1	8/10	9/25
500m	5/1	7/28	9/10
	5/10	8/1	9/14
	5/20	8/5	9/19
	6/1	8/11	9/27
550m	5/1	7/29	9/11
	5/10	8/2	9/16
	5/20	8/6	9/21
	6/1	8/11	9/27
600m	5/1	7/31	9/15
	5/10	8/4	9/19
	5/20	8/7	9/23
	6/1	8/13	10/1

2. つや姫の特徴

- ① 収穫の早い極早生品種
ヒノヒカリと組み合わせ、作期分散が可能。
- ② 品質が優れる
高温耐性品種で、ヒノヒカリより良質で1等米比率も向上(表1)。
- ③ いもち病に強く草丈が短い
いもち病に抵抗性があり、短稈で倒れにくい。
- ④ 優れた食味・「つや」のある外観
コシヒカリと比べ同等以上の食味評価。

3. 田植えまでに注意すること

1) 田植え日

表2は各標高における田植え日別に出穂、収穫時期の予測したものです。竹田市におけるつや姫の田植え時期は5月中が良いと思われます。遅植えは、穂数不足となり、収量低下のおそれがあります。

(表2)を参考にしながら、適期に田植えが行えるよう、早めの準備に取りかかりましょう。

2) 育苗

つや姫は苗が伸びやすいので、ヒノヒカリやひとめぼれより早めに保温シートをはぐようにしましょう。苗の長さ 3~4cm のときが緑化終了のめやすです。

3) 移植密度

つや姫は分けつが緩慢なので、極端な疎植は避け、坪 50 株以上で植えましょう。無駄な分けつが少なく、ヒノヒカリと比べて株張りがやや寂しい印象ですが、成熟期の穂数は同程度となります。

☆次回は、5月号「テーマ：中間管理」を発行予定です。